

# 進化経済学会ニュースレター

No.52 August 2022



(撮影：横田宏樹 倒木からの生命の誕生)

進化経済学会事務局  
〒572-8508  
大阪府寝屋川市池田中町 17-8  
摂南大学経済学部  
原田裕治研究室宛

\*\*\*\*\*

- ✓ 第 26 回進化経済学会京都大会を終えて
- ✓ 第 27 回進化経済学会東京大会（立教大学）オータムコンファレンスのご案内
- ✓ 第 26 回進化経済学会京都大会オンライン総会議事
- ✓ 第 26 回進化経済学会京都大会理事会議事録
- ✓ 【資料】進化経済学会会勢
- ✓ 第 26 回進化経済学会京都（同志社大学）大会会計報告
- ✓ 2020 年度収支計算書決算報告
- ✓ 2021 年度収支計算書中間報告
- ✓ 進化経済学会 2022 年度予算
- ✓ 2021 年度部会報告
- ✓ 進化経済学会内通貨「JAFEE」について
- ✓ 編集後記

\*\*\*\*\*

## 第 26 回進化経済学会京都大会を終えて

第 26 回京都大会実行委員会

服部茂幸、田淵太一（同志社大学）

第 26 回進化経済学会京都大会は 2022 年 3 月 25-27 日に開催しました。主催校は同志社大学ですが、一昨年度、昨年度同じく、オンライン開催です。

今回のテーマは「混迷の世界と経済学」です。2008 年の世界金融危機は混迷の時代の始まりでもありました。その後の世界では従来の常識では考えられないことが起きています。今年、2 月にはロシアのウクライナ侵攻もその一つです。

開催校として、大会テーマに関連し、「コロナ・ショック・ドクトリン」と「資本主義は進化するかー世界金融危機とパンデミック危機ー」の 2 つの企画セッションを開催しました。前者は、現在も進行中である新型コロナ危機の中で、安倍・菅政権がコロナを利用した改革を論じたものです。また歴史を振り返れば、危機の中での資本主義は進化してきました。それを踏まえて、後者は 2008 年の世界金融危機と新型コロナ危機は資本主義を進化させるのか、しないのかを論じたものです。

他に経済学教育の企画セッションとして、「進化経済学を教育する」と「経済学をいかに教育するか」を開催しました。なおオンラインである利点を生かし、経済学教育のセッションは会員以外も視聴可能としました。また前者のセッションは 25 日の金曜日に開催しました。

現在、専修大学経済学部では進化経済学が大学の科目として講義されています。これを踏まえ、進化経済学を教育する」では、具体的にどのように教えているのかを報告してもらいました。「経済学をいかに教育するか」は経済学教育一般の話です。具体的には、初級の経済学教育のプログラム The Core を通じて、制度化された主流の経済学教育を考えるもの、政治経済学を考えるもの、大学院教育並びに行動経済学が主流派経済学を変えたことと、それが進化経済学に持つ意味を考えるものという 3 本立てです。

26 日の午後には、磯谷明德会長が、進化経済学における制度の意味を論じる会長講演を行いました。27 日の午後には、吉田和男フェローがフェロー講演、原田哲史会員が学会賞受賞講演、李澤建会員が奨励賞受賞講演をされました。

開催校以外の企画セッションは 4 セッション、一般報告は 18 本（別に 1 本は報告者の都合により取りやめ）、ポスター・セッションは 7 本でした。今年度の一般報告はシミュレーションなど数理的な報告が多かったように思います。ポスター・セッションは Gather.Town を使用しました。オンライン懇親会でも Gather.Town は使用しました。なお吉田雅明副会長のご尽力で Gather.Town の設定はできました（私は存在自体も知りませんでした）。ただ Gather.Town はなれない人には使い勝手が悪かったと思います（私も使うのが大変でした）。昨年度よりも報告は全体的に増えていますが、コロナ前と比べるとやはり少ないです。コロナが収束し、学会報告も以前のように活発になることを期待しています。

Google Form にて出席を申告してもらいました（司会、報告などで出席が分かっている人は除きます）。実行委員会の調べでは出席者は 111 人です。申告漏れもあるとして、実際はもう少し多いのではないかと思います。さらに、オンライン開催ということで、各報告の出席者も勘定しました。企画セッションは概ね二十数人が多かったです。一般報告は十数人が多く、一桁のものもありました。

なお今回の学会の開催にあたり Zoom の 2 回線分を新たに契約しました。その際に私（服部）はメー

ル・アドレスが同じでも、使用しているパソコンが違えば、複数の Zoom アドレスが使用できると思っていました（そうでないと、複数のアドレスを契約する意味がないと今でも私は疑問に思っています）。そのため、1つの Zoom アドレスが使えなくなり、第3会場の Zoom が使えなくなりました。最終的に別のメール・アドレスから Zoom アドレスを割り当てましたが、第3会場の開始が 20 分程度遅れました。この件に関しては、皆様にお詫び申し上げます。これを除くと、学会は大きなトラブルはなく、無事終わりました。皆様のご協力には感謝申し上げます。

ここ3年、新型コロナのため、本大会が対面で開催ができなくなっているのは寂しい限りです。新型コロナウイルスがはびこる現在でも、ウクライナ危機、ミャンマーの内戦は続いています。一刻も早く平和な世界がくることを祈ってやみません。

## 第 27 回進化経済学会東京大会（立教大学）オータムコンファレンスのご案内

今現在、われわれの経済社会の未来が語られる際、真っ先に挙げられるキーワードは「ソサエティ 5.0」や「DX（デジタルトランスフォーメーション）」といったものであろう。今回のコロナ禍も、オンライン空間での様々な経済社会活動を急速に身近なものとし、多くの人々にいわゆるメタバースの可能性あるいはその限界を意識させたことであろう。

こうした状況を踏まえ今後の経済社会の変革を展望するとき、重要なキーワードの一つとなるのが、AI（人工知能）である。オータムコンファレンスのシンポジウムでは、AI（人工知能）をキーワードとし、その現在・倫理・社会実装などの様々な側面から論じる機会を設けることとしたい。

多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

### オータムコンファレンス

日時：2022 年 9 月 17 日（土）

場所：立教大学（池袋キャンパス）※対面／オンラインのハイブリッド開催予定

### シンポジウム 13:00～15:45

講演者：

内山 泰伸 氏（立教大学大学院人工知能科学研究科教授・研究科委員長）

村上 祐子 氏（立教大学大学院人工知能科学研究科教授）

三宅 陽一郎 氏（株式会社スクウェア・エニックス、立教大学大学院人工知能科学研究科特任教授）

### ライブプレゼン・フェス 2022 16:00～17:00

今回のオータムコンファレンスより、「ライブプレゼン・フェス 2022」という新規企画が設けられています。詳細および報告募集については、大会 web サイトをご覧ください。報告募集の締切りは 2022 年 7 月 31 日（日）となっております。

### 年次大会

日時：2023 年 3 月 18 日（土）・19 日（日）

報告申込み、プログラム等については、大会 web サイトやメーリングリストにて逐次ご案内いたします。

大会実行委員会：池田毅（委員長・立教大学経済学部）、荒川章義（副委員長・立教大学経済学部）、櫻井公人（立教大学経済学部）、二宮健史郎（立教大学経済学部）、巖成男（立教大学経済学部）、大西立顕（立教大学大学院人工知能科学研究科）

大会 web サイト：<https://sites.google.com/rikkyo.ac.jp/jafee2022/>

## 第26回進化経済学会京都大会オンライン総会議事

日時：2022年3月27日（日）13:00~14:00

場所：ZOOMによるオンライン開催

### 1. 議長の選出

高橋真悟会員を議長に選出した

### 2. 磯谷明德会長挨拶

磯谷明德会長より静岡大会オンライン開催に際して挨拶があった

### 3. 服部茂幸大会実行委員長より開催状況報告

服部茂幸実行委員長より大会開催状況報告があった

### 4. 会勢報告

原田事務局担当理事より資料に基づき会勢について説明があった上で入退会について提案され、了承された

### 5. 2020年度決算報告ならびに監査報告

西会計担当理事による説明、藤田監査担当理事が監査報告が行われ、2020年度の会計決算報告が了承された

### 6. 2021年度修正予算について

西会計担当理事が2021年度の修正予算案について説明を行い、了承された

### 7. 2021年度決算中間報告

西会計担当理事が2021年度の暫定的な会計決算報告を行い、了承された

### 8. 2022年度予算について

西会計担当理事が2022年度の予算案について説明を行い、了承された

### 9. 第7回学会賞ならびに第3回奨励賞の募集について

原田事務局担当理事より第7回学会賞および第3回奨励賞の選考委員ならびに募集要項について報告があった

### 10. 会則改正について

原田事務局担当理事より近年の学会運営の実態、今後の組織改革、および学会運営のデジタル化に合わせた会則改正が提案され、了承された。また宮崎義久会員と吉井哲会員が磯谷会長により事務局理事に任命されたことが報告された

### 11. 大会運営について

原田事務局担当理事より資料にもとづき大会運営の改革、具体的には1) ポスターセッションの改革、2) 予稿提出義務の厳格化、3) 企画セッションの立て方の工夫について報告があった

### 12. 学会HPの刷新と予稿集のWeb公開について

吉井Web・広報委員会委員長より学会HPの刷新の報告と情報提供や改善要望提出の依頼があった。また原田事務局担当理事より予稿集（進化経済学論集）の一般公開について報告があった

### 13. 進化経済学会通貨 JAFEE の運用開始について

宮崎 JAFEE 運営委員会委員長より進化経済学会通貨 JAFEE の運用が開始されたことが報告され、積極的な利用申請が呼びかけられた

#### 14. 会員情報管理システムの導入について

原田事務局担当理事より資料にもとづき会員情報管理システムが新しく導入されたことが報告され、その積極的な利用が呼びかけられた

#### 15. 次年度開催校について

池田大会実行委員長より次年度のオータムコンファレンスは、2022年9月17日(土)に、次年度本大会は2023年3月18日(土)・19日(日)に立教大学池袋キャンパスで開催予定である旨報告があった

#### 16. 2021年度フェローの発表とフェロー就任講演

2021年度フェローとして、吉田和男会員が選出されたことが発表され、記念品が贈呈された。フェローに就任した吉田会員による記念講演が行われた。

#### 17. 第6回学会賞・第2回奨励賞の発表と記念講演

第6回(2021年度)学会賞が、原田哲史会員の著書『19世紀前半のドイツ経済思想—ドイツ古典派、ロマン主義、フリードリヒ・リスト』(ミネルヴァ書房, 2020年)に授与されることが発表され、記念品が贈呈された。

また第2回(2021年度)奨励賞が、李澤建会員の著書『新興国企業の成長戦略—中国自動車産業が語る”持たざる者”の強み』(晃洋書房, 2019年)に授与されることが発表され、記念品が贈呈された。受賞した両会員による記念講演が行われた。

文責：事務局担当理事 原田裕治

## 第 26 回進化経済学会京都大会理事会議事録

日時：2022 年 3 月 26 日（土）12:00~13:15

場所：ZOOM によるオンライン開催

出席者：磯谷明德（会長）、吉田雅明（副会長）、服部茂幸（大会実行委員長）、浅田統一郎、荒川章義、有賀裕二、池田毅、依田高典、植村博恭、宇仁宏幸、江頭進、岡敏弘、小川一仁、巖成男、瀬尾崇、瀧澤弘和、中原隆幸、鍋島直樹、西洋（会計）、西部忠、橋本敬、廣瀬弘毅、藤田菜々子（監査）、宮崎義久、八木紀一郎、吉井哲、原田裕治（事務局）

欠席（委任状あり）：黒瀬一弘（監査）、遠山弘徳、徳丸宣穂、

欠席：佐々木啓明、澤邊紀生、塩沢由典、藤本隆宏（敬称略）

### 1. 報告

#### 1. 1 磯谷明德会長挨拶

磯谷会長より京都大会オンライン開催に際して挨拶があった

#### 1. 2 服部茂幸大会実行委員長より大会開催状況報告

服部大会実行委員長より大会開催状況報告があった

#### 1. 3 会勢報告

原田事務局担当理事より資料に基づき会勢報告があった

#### 1. 4 日本経済学会連合報告

池田担当理事より資料に基づき評議会の報告があった

#### 1. 5 各部会報告

ニューズレターに掲載のため省略

#### 1. 6 学会 HP の刷新について

吉井 Web 広報委員会委員長より提示資料にもとづき学会 HP の刷新について報告があり、今後の改善について協力の依頼があった

#### 1. 7 会員情報管理システムの導入について

原田事務局担当理事より資料に基づき新たに導入された会員情報システムについて報告があった

#### 1. 8 進化経済学会通貨 JAFEE の運用開始について

宮崎 JAFEE 運営委員会委員長より資料に基づき JAFEE 立ち上げと委員会の活動について報告があった

#### 1. 9 オータムコンファレンスおよび本大会開催日時と会場について

池田大会実行委員長より次年度のオータムコンファレンスは、2021 年 9 月 17 日(土)に、次年度本大会は 2023 年 3 月 18 日(土)・19 日(日)に立教大学池袋キャンパスで開催予定である旨報告があった

### 2. 議題

#### 2. 1 入退会について

原田事務局担当理事より入会希望者及び退会者の提案がなされ、提案通り了承された

#### 2. 2 学会銀行口座移管に伴う代表者並びに所在地の変更について



原田事務局担当理事より、会員情報システムの導入に伴い必要となった学会銀行口座の移管のために以下のように学会代表者並びに所在地を変更することが提案され、了承された

(変更前)

(所在地) 〒162-0801 新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内

(代表) 進化経済学会 代表 笠井 健

(変更後)

(所在地) 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町 17-8 摂南大学経済学部 原田裕治研究室気付

(代表) 進化経済学会 代表 磯谷 明德

## 2. 3 今後の年次大会・オースタムコンファレンスの運営について

瀬尾学会活性化委員会委員長および荒川大会プログラム委員会委員長より、今後の年次大会・オースタムコンファレンスの運営について、1) ポスターセッションの運営を活性化委員会を中心に改革する(「ライブプレゼン・フェス」の開催)、2) 予稿提出の義務を強化する、3) 大会テーマに沿った企画提案を行い、大会の統一性・一体感を高めるよう大会プログラム委員会が調整することについて提案があり、了承された

## 2. 4 予稿集の Web 公開について

原田事務局担当理事より、資料に基づき予稿集の Web 上への一般公開について提案され、了承された

## 2. 5 2021 年度決算中間報告

西会計担当理事が 2020 年度の暫定的な会計決算報告を行い、了承された

## 2. 6 2022 年度予算について

西会計担当理事が 2021 年度の前案について説明を行い、了承された

## 2. 7 進化経済学会賞・奨励賞選考委員会委員長並びに委員の交代について

原田事務局担当理事より、次年度の学会賞・奨励賞選考委員会委員長並びに委員が、西洋(阪南大学)(委員長)(留任)、鍋島直樹(名古屋大学)(留任)、稲水伸行(東京大学)(新任)、小川一仁(関西大学)(新任)となることが提案され、了承された。

## 2. 8 第 7 回学会賞および第 3 回奨励賞の募集要項について

原田事務局担当理事より、第 6 回学会賞および第 2 回奨励賞の募集要項について提案され、了承された

## 2. 9 フェロー選考委員会の立ち上げについて

原田事務局担当理事より、磯谷会長・吉田副会長からの推薦にもとづき、フェロー選考委員会を立ち上げ、荒川理事、西理事、廣瀬理事が選考委員となることが提案され、了承された

## 2. 10 会則改正について

原田事務局担当理事より、会員情報システムの導入に伴う会則の改正が提案され、了承された

## 3. その他

なし

文責：事務局担当理事 原田裕治

【資料】進化経済学会会勢

2021年9月6日時点		
進化経済学会会勢状況		
個人会員	342	(入会1休会4含む)
個人終身正会員	14	
院生会員	41	(休会3含む)
賛助会員/団体	0	
賛助会員/特別	0	
招待会員	2	
個人準会員	1	
	400	

2022年3月24日 時点		
進化経済学会会勢状況		
個人会員	321	(休会4含む)
個人終身正会員	16	
院生会員	35	(入会5休会3含む)
賛助会員/団体	0	
賛助会員/特別	0	
招待会員	2	
個人準会員	1	
	375	

第 26 回進化経済学会京都（同志社大学）大会会計報告

2022 年 3 月 25 日会計担当理事

西 洋（阪南大学）

1. 2020 年度（令和 2 年度）収支計算報告

- ・ 資料 1「監査済 2020 年度収支計算書決算報告」参照

2. 2021 年度(令和 3 年度)収支計算中間報告（4/1/2021～2/28/2022）

- ・ 資料 2「2021 年度収支計算書中間報告」参照

【収入と支出：4/1/2021～2/28/2022】

収入	支出						
	予算案	決済額	増減	予算案	決済額	増減	
当期収入合計	3,153,000	3,232,009	79,009	当期支出合計	4,525,000	2,850,331	-1,674,669
前期繰越金	5,879,212	5,879,212	0	繰越金	4,507,212	6,260,890	1,753,678
総計	9,032,212	9,111,221	79,009	総計	9,032,212	9,111,221	79,009

【貸借対照表：4/1/2021～2/28/2022】

借方		貸方	
普通預金	824,992	前受会費	10,000
郵便振替	5,045,898	前期繰越金	5,879,212
仮払金	400,000	当期差益	381,678
合計	6,270,890	合計	6,270,890

【収入と支出：4/1/2021～3/31/2022 見込みについては資料 2 を参照】

3. 2022 年度予算案

- ・ 資料 3「進化経済学会 2022 年度予算（案）」参照

収入	支出				
	予算案	(参考) 21 年度	予算案	(参考) 21 年度	
前期繰越金	4,874,973	5,879,212	当期支出合計	4,275,000	4,525,000
収入	3,001,000	3,153,000	繰越金	3,600,973	4,507,212
総計	7,875,973	9,032,212	総計	7,875,973	9,032,212

以上

進化経済学会

2020年度 収支計算書決算報告  
(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

収入	予算案	決算額	増減	支出	予算案	決算額	増減	
会費	2,902,000	3,494,000	592,000	大会費	1,100,000	153,480	-946,520	
正会員当該年度	2,760,000	2,870,000		オータム・コンファレンス	400,000	38,610	-361,390	
正会員過年度分		330,000		本大会	700,000	114,870	-585,130	
終身正会員当該年度	50,000	50,000		英文誌編集刊行費	0	0	0	
院生会員当該年度	90,000	120,000		通信費	20,000	1,560	-18,440	
院生会員過年度分		80,000		交通費	0	0	0	
準会員	2,000	4,000		事務用品費	80,000	33,696	-46,304	
賛助会員当該年度	0	0		謝金	20,000	5,568	-14,432	
その他(前受会費)		40,000		送金手数料	20,000	6,448	-13,552	
大会収入	700,000	1	-699,999	会議費	0	0	0	
オータム・コンファレンス	100,000	0	-100,000	印刷費	0	0	0	
本大会	600,000	0	-600,000	事務委託費	650,000	592,928	-57,072	
CD販売・受取利子	0	1	1	国際交流費	0	0	0	
利息	0	10	10	部会補助費	150,000	0	-150,000	
寄付金	0	0	0	経済学会連合会費	35,000	35,000	0	
書籍売却代	0	0	0	学会賞	100,000	150,000	50,000	
定期購読料	0	0	0	振替票送付代	0	15,950	15,950	
利用料	『進化経済学ハンドブック』	0	6,228	6,228				
印税収入	シュプリンガー・モノグラフS	0	198878	198878	予備費	100,000	84,137	-15,863
当期収入合計	3,602,000	3,699,117	97,117	当期支出合計	2,275,000	1,078,767	-1,196,233	
前期繰越金	3,258,862	3,258,862	0	繰越金	4,585,862	5,879,212	1,293,350	
総計	6,860,862	6,957,979	97,117	総計	6,860,862	6,957,979	97,117	

上記の通り相違が無いことを確認いたしました

2021年 9月28日

黒瀬 一弘

進化経済学会監査委員

上記の通り相違が無いことを確認いたしました

2021年 10月 4日

藤田 菜々子

進化経済学会監査委員

貸借対照表  
(2021年3月31日)

(単位:円)

借方		貸方	
I 流動資産		II 流動負債	
現金		前受会費	110,000
預金			
普通預金	794,053		
郵便振替	4,948,638		
未収金	246,521	III 正味財産	
		次期繰越金	
		前期繰越金	3,258,862
		当期差益	2,620,350
合計	5,989,212	合計	5,989,212

財産目録  
(2021年3月31日)

(資産の部) (単位:円)

科目	管理部門	金融機関	金額
流動資産			
現金			
預金	会計担当理事	りそな銀行(千里中央)	794,053
	学会事務局(国際文献)	郵便振替口座	4,948,638
未収金	第25回大会残金		246,521
資産合計			5,989,212

(負債および正味財産の部) (単位:円)

科目	適用	金額
流動負債		
前受会費		110,000
負債合計		110,000
正味財産合計		
	前期繰越金	3,258,862
	当期収支差額	2,620,350
負債及び正味財産合計		5,989,212

進化経済学会

2021年度 収支計算書中間報告  
(2021年4月1日～2022年2月28日)

(単位:円)

収入	予算案	決算額	増減	支出	予算案	決算額	増減
会費	2,919,000	3,232,000	313,000	大会費	400,000	0	-400,000
正会員当該年度	2,750,000	2,600,000	-150,000	オータム・コンファレンス	400,000	0	-400,000
正会員過年度分	0	330,000	330,000	本大会	0	0	0
終身正会員当該年度	50,000	50,000	0	英文誌編集刊行費	2,200,000	2,200,000	0
院生会員当該年度	115,000	105,000	-10,000	通信費	20,000	5,568	-14,432
院生会員過年度分	0	35,000	35,000	交通費	0	0	0
準会員	4,000	2,000	-2,000	事務用品費	80,000	0	-80,000
賛助会員当該年度	0	0	0	謝金	20,000	22,000	2,000
その他(前受会費)	0	110,000	110,000	送金手数料	20,000	6,940	-13,060
大会収入	200,000	0	-200,000	会議費	0	0	0
オータム・コンファレンス	50,000	0	-50,000	印刷費	0	0	0
本大会	150,000	0	-150,000	事務委託費	650,000	567,403	-82,597
CD販売	0	0	0	国際交流費	0	0	0
利息	0	8	8	部会補助費	150,000	0	-150,000
寄付金	0	1	1	経済学会連合会費	35,000	35,000	0
書籍売却代	0	0	0	学会賞	100,000	0	-100,000
定期購読料	0	0	0	振替票送付代	0	13,420	13,420
利用料	『進化経済学ハンドブック』 6,000	0	-6,000	予備費	850,000	0	-850,000
印税収入	シュプリンガー・モノグラフ S. 28,000	0	-28,000	当期支出合計	4,525,000	2,850,331	-1,674,669
当期収入合計	3,153,000	3,232,009	79,009	繰越金	4,507,212	6,260,890	1,753,678
前期繰越金	5,879,212	5,879,212	0	総計	9,032,212	9,111,221	79,009
総計	9,032,212	9,111,221	79,009				

2021年度 収支計算書中間報告(2022年3月31日時点の見込み)  
(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:円)

収入	予算案	決算額	増減	支出	予算案	決算額	増減
会費	2,919,000	3,232,000	313,000	大会費	400,000	400,000	0
正会員当該年度	2,750,000	2,600,000	-150,000	オータム・コンファレンス	400,000	400,000	0
正会員過年度分	0	330,000	330,000	本大会	0	0	0
終身正会員当該年度	50,000	50,000	0	英文誌編集刊行費	2,200,000	2,200,000	0
院生会員当該年度	115,000	105,000	-10,000	通信費	20,000	5,568	-14,432
院生会員過年度分	0	35,000	35,000	交通費	0	0	0
準会員	4,000	2,000	-2,000	事務用品費(※補代等)	80,000	38,564	-41,436
賛助会員当該年度	0	0	0	謝金	20,000	22,000	2,000
その他(前受会費)	0	110,000	110,000	送金手数料	20,000	8,140	-11,860
大会収入	200,000	0	-200,000	会議費	0	0	0
オータム・コンファレンス	50,000	0	-50,000	印刷費	0	0	0
本大会	150,000	0	-150,000	事務委託費	650,000	608,956	-41,044
CD販売	0	0	0	国際交流費	0	0	0
利息	0	8	8	部会補助費	150,000	0	-150,000
寄付金	0	1	1	経済学会連合会費	35,000	35,000	0
書籍売却代	0	0	0	学会賞	100,000	100,000	0
定期購読料	0	0	0	振替票送付代	0	13,420	13,420
利用料	『進化経済学ハンドブック』 6,000	0	-6,000	予備費	850,000	804,600	-45,400
印税収入	シュプリンガー・モノグラフ S. 28,000	0	-28,000	当期支出合計	4,525,000	4,236,248	-288,752
当期収入合計	3,153,000	3,232,009	79,009	繰越金	4,507,212	4,874,973	367,761
前期繰越金	5,879,212	5,879,212	0	総計	9,032,212	9,111,221	79,009
総計	9,032,212	9,111,221	79,009				

【注記】

- 本報告書は以下の4点
  - ①2021年度 収支計算書中間報告(2021年4月1日～2022年2月28日)
  - ②2021年度 収支計算書中間報告(2022年3月31日時点の見込み)
  - ③貸借対照表(2022年2月28日現在)
  - ④財産目録(2022年2月28日現在)
- 収支計算書について、「会費」は2/28時点と3/31見込みを同額計上しているが、3月中の納付によって微増する。
- 収支計算書について、「大会収入」は2/28時点は計上。3/31見込みもほぼゼロの見込み。なお、2021年度オータムコンファレンスおよび本大会の実際の収入額は、大会実行委員会からの収支報告を受け次第確定する。
- 収支計算書について、「大会費」は2/28時点は0計上。3/31見込みは予算段階の支出額を計上。なお、2021年度オータムコンファレンスおよび本大会の実際の支出額は、大会実行委員会からの収支報告を受け次第確定する(うちオータムにおよそ3万円、本大会におよそ6万円を使用予定)。
- 学会年会費の郵便為替による振り込みで新しく「振替受払通知票等郵送通知料金」(ゆうちょ銀行。国際文献社報告書類では「振替票送付代」)が、会員の入金1件につき110円発生している。2021年4月1日～2022年2月28日において入金件数は122件であり、したがって122件×110円/件=13,420円の支出が計上されている。
- 2021年度の『ハンドブック』利用料収入(1件予定)は2022年の12月に、『シュプリンガー・モノグラフS』の印税収入は、2022年4月以降の支払いを予定。
- 寄付金1円は新規口座開設ともなう入金。

2022/3/24作成

貸借対照表  
(2022年2月28日現在)

(単位:円)

借方		貸方	
I 流動資産		II 流動負債	
現金		前受会費	10,000
預金			
普通預金	824,992		
郵便振替	5,045,898		
仮払金	400,000	III 正味財産	
		次期繰越金	
		前期繰越金	5,879,212
		当期差益	381,678
合計	6,270,890	合計	6,270,890

財産目録  
(2022年2月28日現在)

(資産の部)		(単位:円)	
科目	管理部門	金融機関	金額
流動資産			
現金			
預金			
	会計担当理事	りそな銀行(天美出張所)	824,992
	学会事務局(国際文献)	郵便振替口座	5,045,898
仮払金	大会準備金		400,000
資産合計			6,270,890

(負債および正味財産の部)		(単位:円)	
科目	適用	金額	
流動負債			10,000
前受会費		10,000	
負債合計			10,000
正味財産合計			
		前期繰越金	5,879,212
		当期収支差額	381,678
負債及び正味財産合計			6,270,890

進化経済学会 2022年度予算

(2022年4月1日 ~ 2023年3月31日)

(単位:円)

収入予算		支出予算		
	予算額			予算額
2021年度からの繰越(見込)	4,874,973	大会費		1,100,000
			(内訳)	
			オータムコンファレンス	400,000
			本大会	700,000
		英文誌編集刊行費		2,200,000
会費	2,767,000			
	(内訳)			
	正会員	2,600,000	通信費	20,000
	終身正会員 (同上)	50,000	事務用品費	80,000
	院生会員 (同上)	105,000	謝金	20,000
	準会員 (同上)	2,000	送金手数料	20,000
	賛助会員 (同上)	0		
	JAFEE通貨寄付 (同上)	0	事務委託費	450,000
	その他(前受会費)	10,000		
大会収入	200,000			
	(内訳)			
	オータムコンファレンス	50,000	部会補助費	150,000
	本大会	150,000	学会賞	100,000
			経済学会連合会費	35,000
書籍売却代(2021年度見込)	0	予備費		100,000
定期購読料(同上)	0	小計		4,275,000
利用料(同上)	進化経済学ハンドブック	6,000		
印税(同上)	シュプリング・モノグラフS.	28,000	2023年度への繰越	3,600,973
総計	7,875,973	総計		7,875,973

【注記：当初予算】

収入側

1. 会費収入は2021年度見込みに基づき計上しているが、滞納者の一括除籍による会費収入の減少が予想される。
2. 大会収入はオータムカンファレンス、本大会ともに対面実施を念頭に、オンライン実施以前の見込みで計上。
3. 2021年度から新項目として、利用料（進化経済学ハンドブック）および印税（シュプリング・モノグラフシリーズ）を設置。
4. 2022年度から新項目として、JAFEE通貨寄付を設置（ただし22年度は円とのリンクはない）。
5. 22年度にむけて、21年度からの前受会費が1件10,000円あり。これを会費収入に含めている。

支出側

1. 大会費はオータムカンファレンス、本大会ともに対面実施を念頭に計上。
2. 英文誌編集刊行費、通信費、事務用品費、謝金、送金手数料、部会補助費、学会賞、経済学会連合会費は前年度予算額を計上。
3. 謝金は「OSUDMF」に学会ドメイン&サーバー代として2年で20,000円を支払っていたが、2021年度をもって契約解除した。念のため例年通り20,000円を計上。
4. 事務委託費は、450,000円を計上。新会員管理システムへの移行にともなってサイエンスウェブ社に約100,000円、サラト社に約350,000円の支払いを予定（従来は国際文献社に約650,000円を支出していたので、およそ30%の支出削減）。

## 2021 年度部会報告

### ■ 現代日本の経済制度部会

現代日本の経済制度部会は、2021 年度に計 6 回の研究会を開催しました。多数のご参加をどうもありがとうございました。

文責：西洋（阪南大学）

現代日本の経済制度部会：2021 年度第 6 回研究会

日時：2022 年 2 月 19 日 13:25～17:30, 場所：ZOOM

テーマ：「競合する現代の政治・経済・諸制度」

第一報告：磯谷明德（下関市立大学）「G.M. Hodgson, Liberal Solidarity, Edward Elgar, 2021 を読む」

第二報告：王佳（上海社会科学院）「中国の不動産市場にかかわる諸制度の変化と不動産市場の行方」

第三報告：安藤順彦（名古屋大学・院）「労働市場の制度的補完性が所得格差に与える影響:OECD 諸国のパネルデータを用いた分析」

現代日本の経済制度部会：2021 年度第 5 回研究会

日時：2021 年 11 月 21 日 14:30～17:50, 場所：ZOOM

テーマ：「現代資本主義の多様性とレジリエンスを考える」

第一報告：藤田菜々子（名古屋市立大学）「ミラノヴィッチ『資本主義だけ残った』の諸論点とレギュレーション理論」

第二報告：西洋（阪南大学）「経済的レジリエンスに関する諸研究：概念と測定を中心に」

現代日本の経済制度部会（制度と統治の部会と共催）：2021 年度第 4 回研究会

日時：2021 年 10 月 31 日（日）14:00～17:00, 場所：ZOOM

テーマ：「公正社会と適正価値の実現から離れてゆく日銀の金融政策」

第一報告：宇仁宏幸（追手門学院大学）「J.R. コモンズの適正価値論の再評価－現代政治哲学の議論をふまえて」

第二報告：服部茂幸（同志社大学）「迷走する日本銀行」（当日はキャンセル：2021 年 12 月 26 日（日曜日）14:00～17:00 に変更）

現代日本の経済制度部会（制度と統治の部会と共催）：2021 年度第 3 回研究会

日時：2021 年 8 月 9 日（月）14:00～17:00, 場所：ZOOM

テーマ：「21 世紀の米中対立を俯瞰する」

第一報告：服部茂幸（同志社大学）「台頭する新興国と米中対立」

第二報告：巖成男（立教大学）「米中対立の本質－市場 VS. 国家」

現代日本の経済制度部会：2021 年度第 2 回研究会

日時：2021年7月25日（日）13:30～16:30，場所：ZOOM

テーマ：『制度と進化の政治経済学』の出版に向けての最終調整」

第一報告：磯谷明德（下関市立大学）・植村博恭（横浜国立大学・名）「制度と進化の政治経済学：重層的な時間と空間の再構築」

第二報告：原田裕治（摂南大学）「終章コロナ以後の社会経済システム：健康・経済・自由の「トリレンマ」をどう打開するか「各国のトリレンマの状況」

池田毅（立教大学）「日本の状況についてボウルズモデルの応用」

現代日本の経済制度部会（制度と統治の部会と共催）：2021年度第1回研究会

日時：2021年5月30日（日）14:00～17:00，場所：ZOOM

テーマ：「レギュレーション・アプローチの最新刊（合評会）」

第一報告：平野泰朗（福岡県立大学・名）・山田鋭夫（名古屋大学・名）・大熊一寛（環境省）「ロベール・ボワイエ著『パンデミックは資本主義をどう変えるか—健康・経済・自由』をめぐって」

第二報告：坂口明義（専修大学）・中原隆幸（阪南大学）・徳丸宜穂（名古屋工業大学）「ブリューノ・テレ著『社会的事実としての貨幣—その統一理論と多様な現実ネオ・レギュレーション・アプローチ』をめぐって」

## ■ 進化経済学会北海道・東北部会

進化経済学会北海道・東北部会は2021年度、以下の活動を行いましたのでご報告申し上げます。

2022年3月12日（13:00-16:00）にオンラインで、進化経済学会北海道・東北部会を開催いたしました。

研究報告：「シュンペーター 社会階級論の再考」 小林大州介（北海道大学）

企画セッション「学会通貨 JAFEE を使ってみよう」 宮崎義久（仙台高専）・小林重人（札幌市立大学）

研究報告では、北海道大学の小林大州介会員から、シュンペーターの『経済発展の理論』における「社会階級論」の重要性について報告があり、参加者との活発な議論が行われました。仙台高専の宮崎義久会員と札幌市立大学の小林重人が企画したセッションでは、2021年度より運用が開始される学会通貨 JAFEE をメタバース上でいち早く体験してもらい、その体験をもとにして今後の学会活動における JAFEE の利用可能性について意見交換を行いました。

文責 小林 重人（札幌市立大学）

## ■ 観光学研究部会

2021年度 観光学研究部会は2回の研究会と年次大会における企画セッションを行った。

・第46回研究会

日付：2021年6月16日（木）



場所：ZOOM によるオンライン開催

報告者 川邊咲子（国立歴史民俗博物館）「地域民具コレクションの経緯、現状と課題：能登地域を事例に」

・第 47 回研究会

日付：2021 年 9 月 22 日（水）

場所：ZOOM によるオンライン開催

報告者 1 出口竜也（和歌山大学）「地消地産による地場産品開発と情報伝達」

報告者 2 山脇節史（Pasión パシオン）「六島で感銘を受けたれもの出会いとお菓子づくり」

報告者 3 吉田 友之（株式会社吉田代表取締役・和歌山大学大学院観光学研究科）「特産品を活用した地域内連携と観光振興 ～クラフトビールを事例に～」

・京都大会企画セッション：COVID-19 後の観光と地域経済

日付：2022 年 3 月 27 日（日）

場所：ZOOM によるオンライン開催

司会：深見聡（長崎大学）

出口竜也（和歌山大学）「COVID-19 禍における観光教育の現状と今後の展望」

井出明（金沢大学）「進化経済学的観点から見たコロナ後の観光産業」

山田良治（大阪観光大学）「コロナ禍と観光労働」

2022 年度は「アフターコロナ」を踏まえつつ、より部会活動を充実させていきたい。

## 進化経済学会内通貨「JAFEE」について

宮崎義久（JAFEE 通貨運営委員会）

昨年度の3月に同志社大学（オンライン）で開催された全国大会から学会内通貨「JAFEE」の運用が開始されました。学会メンバー間のコミュニケーションや活動の活性化を目指し、オンライン（Gather.town）上で学会コミケを開催し、およそ15名の方々にご利用いただきました。引き続き、本年度も9月のオータムカンファレンスと本大会での開催を考えておりますので、奮ってご参加ください。

また、9月のオータムカンファレンスに向けて、7月と8月に説明会とプレイベントを開催予定です。こちらにつきましても、今後学会のメーリングリスト等を通じて、情報を発信・公開して参ります。まだ、JAFEEをご利用になられておられない方、会員登録などの手続きがご不明な方、JAFEEを通して学会メンバーとさらなる交流を図りたいと考えていらっしゃる方はぜひともご参加ください。

その他、JAFEEの活用方法についてアイデアを募集しております。例えば、学会賞の命名権、大学や科研費などの紹介・HPへのバナー掲載、などみなさまの研究や学会活性化につながるようなことがございましたら、ぜひとも運営委員会までお知らせください。現時点で、気になることやご不明な点などがございましたら、お気軽に宮崎までご連絡ください。

### 【JAFEE 通貨利用登録の流れ】

#### (1) 「C.C.Wallet」アプリをインストール・登録する

- ・お使いのスマートフォンに「C.C.Wallet」のアプリケーションをインストールする
  - ・各自でユーザー登録の手続きを行う
- 必ず JAFEE 通貨コミュニティへの参加まで手続きを進めてください
- ・登録した携帯電話番号およびユーザーIDをメモする

#### (2) 進化経済学会のオンライン会員情報管理システムにアクセス・登録する

- ・学会ホームページから会員情報管理システムにアクセス・ログインする  
(会員情報管理システムにアクセスしたことがない方は、最初に会員情報の登録・確認があります)
  - ・会員情報管理システム内にある「JAFEE 通貨利用登録」から上記で登録した携帯電話番号およびユーザーIDを入力する
- JAFEE 通貨運営委員会の事務局にて、入力情報の確認・設定をいたします
- ・「申請中」から「承認済」へ移行後、JAFEE 通貨の利用が可能となる

※C.C.WalletのインストールからJAFEE 通貨コミュニティへの参加までの流れ・解説について、詳細情報をご希望の方は、下記のリンク先から動画をご覧ください。

→<https://youtu.be/JcoxuBc0VX4>

JAFEE 通貨運営委員会

宮崎義久 (frontier-spirit-21-y.m@nifty.com)

~~~~~

### 編集後記

日常や大学で徐々に落ち着きを取り戻し始めたところに、第7波の感染者増加が起きました。授業や学会・研究会などでも、対面形態が復活しつつありました。オンラインやオンデマンドの便利さや有用性を感じる一方で、人と会い、触れ合い、おしゃべりすることなど、ビフォー・コロナ時代では当たり前であり、場合によっては面倒だとも感じてしまっていたようなことが、人間の暮らしや社会や経済の活力を支えていたのだと実感しています。その当たり前を再認識し、ウィズ・コロナおよびアフター・コロナの社会をより良いものにするために、一人の研究者として何ができるのか、考える日々が続いています。

編集作業が遅々としか進まず、皆様にご迷惑をおかけしていますが、ニュースレターが会員のみなさまの交流の場の一つになればと願っております。秋冬号に向けて、皆様からのご投稿をお待ちしております。

ニュースレター編集担当：横田宏樹（静岡大学）

~~~~~